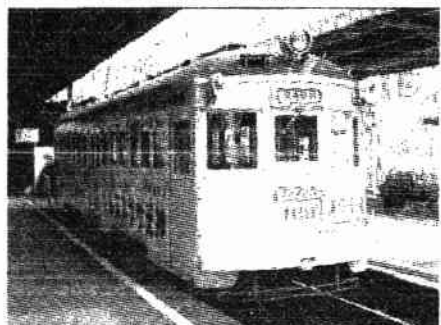


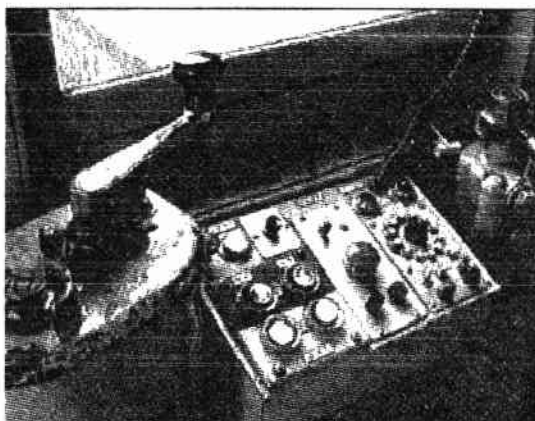
阪堺線

起点

恵美須町駅



阪堺線の起点は、恵美須町駅。
 えびす町は、天王寺と難波の中間点・天王寺動物園の西にあたる。
 駅の向かいの商店街を歩けば、大阪のシンボル通天閣に通じる。コテコテの大阪、飾らない大阪を実感できるところだ。



さて阪堺線は、大阪市えびす町から堺市の浜寺駅前までの14.1kmを約40分で結ぶ。

はじめはいかにも大阪の下町らしいごちゃごちゃした町並みの中を、民家の軒先や塀をかすめるようにして走る。大和川を越えると堺市だ。堺市内は広い道路の中央を悠然と走る。

我々が乗った電車は昭和3年製だった。当年とって68歳!

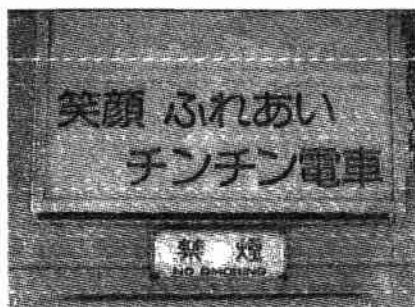
運転台の計器は、大部分取り替えられているようだったが、それでも丸みを帯びたデザインや剥けている塗装をみると、最新の電車とは違った風格がある。

走り出せば、68年の歴史そのままに、モーターは唸り、斜体は左右へと軋み、警笛はかすれた声をあげる。そのひとつひとつに歴史を感じずにはられない。



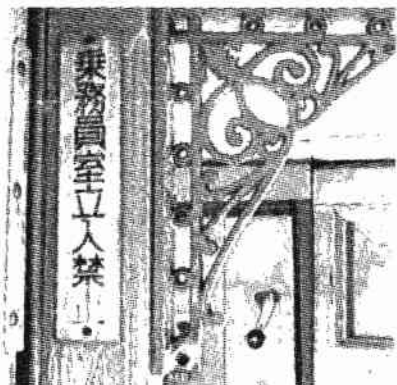
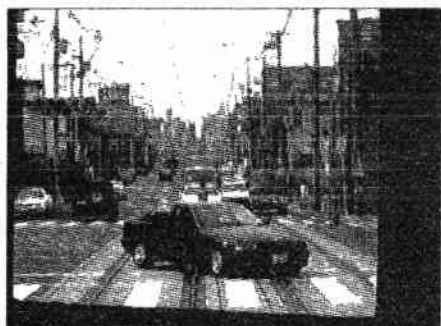


車内風景



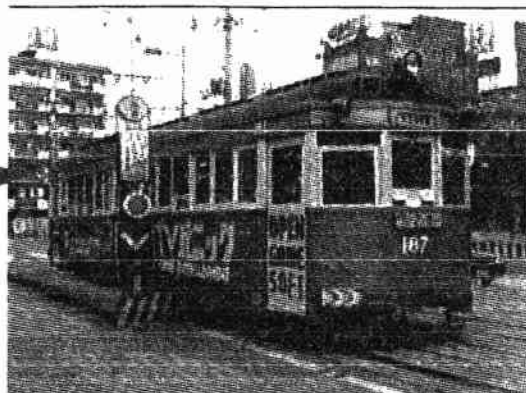
線路は、専用軌道・併用軌道を何度かくり返す。

電車は、併用軌道では、軌道を横切る自動車をゆっくりとやり過ごす。まるでじゃれつく孫を見守るおじいちゃんといった風情だ。しかし専用軌道では、第一線で働いていた頃を思い出すかのように、それなりにスピードを出す。まさに悠々自適。



分岐点

住吉駅



住吉駅は、阪堺線と上町線の交差する駅だ。道路の中央を阪堺線が走り、同じ道路を横切る形で上町線が走る。なかなかデンジャラスな光景だ。

この交差点(?)には、詰め所があり、係員が常駐する。上町線の電車が通過するとき、遮断機を降ろすためだ。

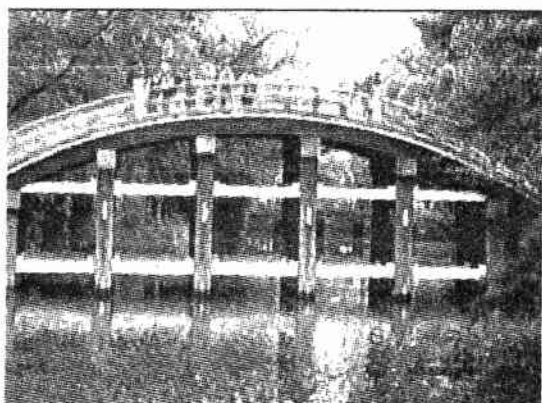


住吉人社

住吉駅からすぐ。
海上安全の神様の大元締め。
住吉造りという社の形態の代表とされる。
入り口にある太鼓橋が有名。

さすが、住吉さん、取材班が訪れたときもけっこうな賑わいであった。しかし広い境内の周辺部には、けっこう人通りの少ない場所も多く、ジョギング夫婦あり、寝ているおっさんあり、真っ昼間からイチャついている若者ありと、まあ住吉さんの懐の広さを垣間見た気がしましたね。

ちなみに太鼓橋は目をつむって上り下りするとかなり怖いぞ(特に下り)。

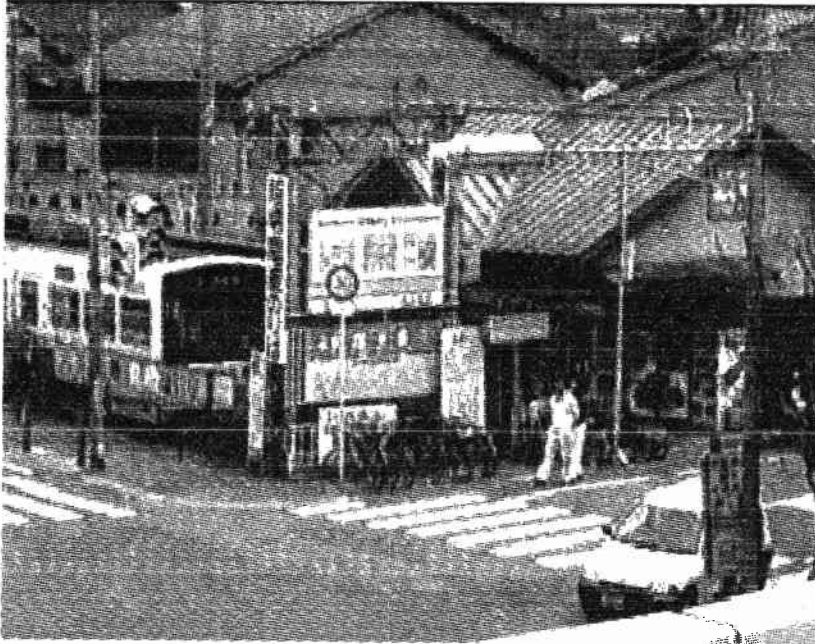




終点 浜寺駅前駅

終点は、浜寺駅前駅だ。バス停にはよくあるけど、鉄道で「駅前」駅というのは珍しいのでは？

その浜寺駅は南海の駅である。こ



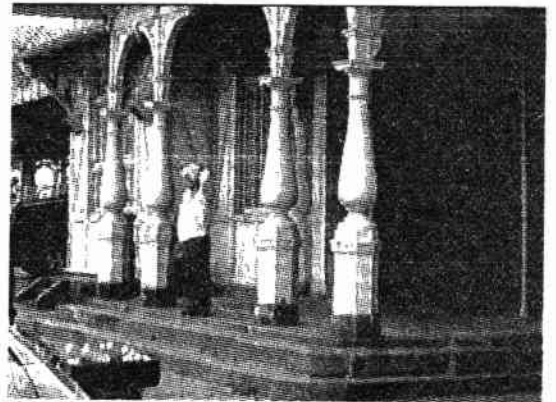
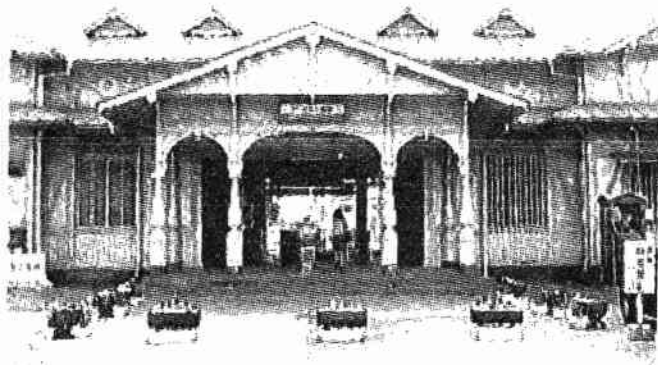
の駅は明治40年に建築された私鉄最古の駅だそうで、丸いガラス窓や、曲線を多用した構成の柱など、なかなか趣深い。司馬遼太郎ぶうの白髪のおじさんがよく似合っていた。

南海浜寺駅の正面から浜寺公園へ伸びる道路の途中に浜寺駅前駅はある。

浜寺駅前駅を降りると、そこはもう、浜寺公園の入り口。浜寺公園は噴水あり芝生あり交通公園ありと、これはなかなかのものだ。

やはり駅名は「浜寺公園」駅のほうがしっくりくるような気がするけどなあ。

(阪堺線 おわり)



(写真・文 福崎かずたろう)